

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

運用報告書(全体版)

第34期

(決算日 2024年12月16日)

(作成対象期間 2024年6月18日～2024年12月16日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限（設定日：2007年12月26日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
30期末(2022年12月16日)	9,406	850	16.7	17,718	12.2	94.2	3.6	17,904
31期末(2023年6月16日)	9,591	600	8.3	18,254	3.0	94.5	2.9	31,906
32期末(2023年12月18日)	10,169	750	13.8	21,428	17.4	93.4	3.6	126,900
33期末(2024年6月17日)	11,782	1,200	27.7	27,686	29.2	97.8	0.9	260,831
34期末(2024年12月16日)	11,181	500	△ 0.9	27,566	△ 0.4	95.4	4.1	302,511

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(税引後配当込み、円換算)は、MSCI Inc. (「MSCI」)の承諾を得て、MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(税引後配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

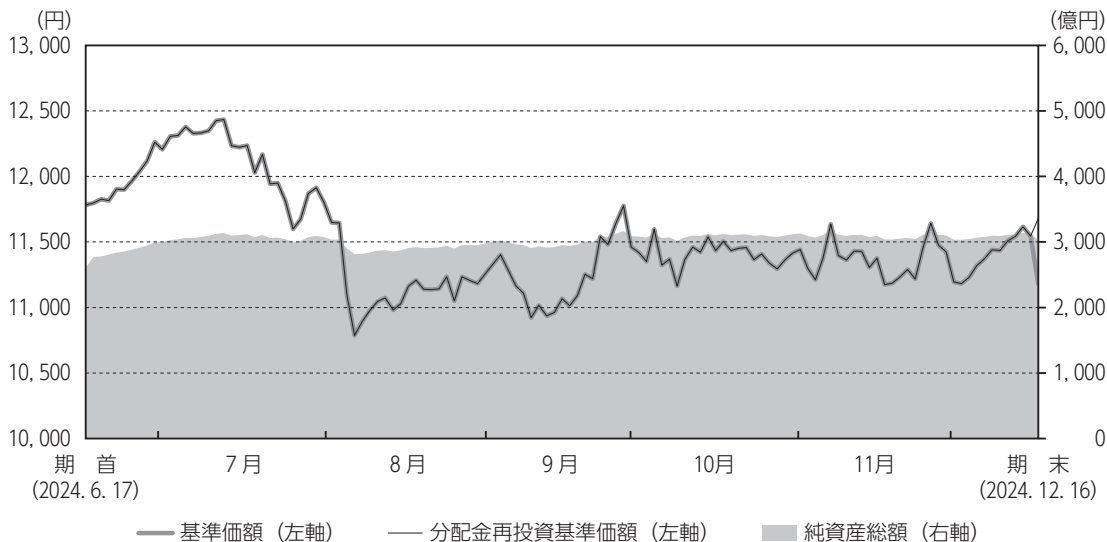
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：11,782円

期末：11,181円（分配金500円）

騰落率：△0.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」を通じてインド株式に投資した結果、インド株式市況の上昇はプラス要因となったものの、インド・ルピーの対円での下落（円高）がマイナス要因となり、基準価額はおおむね横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I インド指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2024年 6月17日	11,782	—	27,686	—	97.8	0.9
6月末	12,262	4.1	28,690	3.6	94.0	3.9
7月末	11,802	0.2	28,139	1.6	94.1	4.0
8月末	11,257	△ 4.5	27,086	△ 2.2	93.6	3.9
9月末	11,460	△ 2.7	27,624	△ 0.2	94.2	3.9
10月末	11,443	△ 2.9	27,188	△ 1.8	93.8	3.9
11月末	11,195	△ 5.0	26,107	△ 5.7	93.8	3.8
(期末) 2024年12月16日	11,681	△ 0.9	27,566	△ 0.4	95.4	4.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

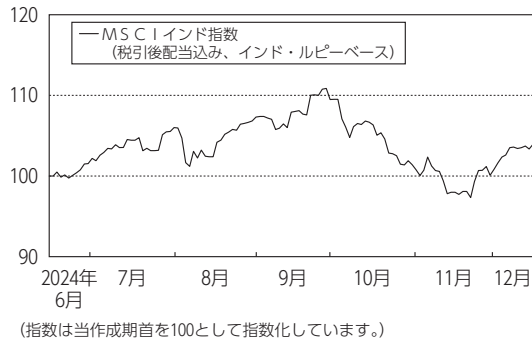
(2024. 6. 18 ~ 2024. 12. 16)

■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より、米国における早期利下げ期待の高まりなどを背景に、上昇しました。2024年8月上旬には、米国における景気減速懸念が重しとなり世界的な株安となる中、インド株も一時下落しましたが、その後はMSCI新興国指数におけるインド株ウエートの上昇や米国の大幅利下げの決定などを背景に、上昇基調で推移しました。10月は、9月CPI（消費者物価指数）の上振れや、市場予想を下回る7-9月期の企業決算に加え、米国金利および米ドル指数の上昇や米国大統領選挙への警戒感などから新興国株式への売り圧力が高まる中、外国人投資家からの資金流出などが要因となり、下落基調で推移しました。その後も、10月CPIの上振れやインド財閥アダニ・グループの会長らが米国検察当局に起訴されたとの報道などを嫌気して、続落しました。当作成期末にかけては、マハラシュトラ州での議会選挙において、与党インド人民党が第1党を、さらに与党連合が過半数を獲得したことにより、投資主導の政策の継続性や政治安定への期待が高まったことなどから、反発しました。

株価指数の推移

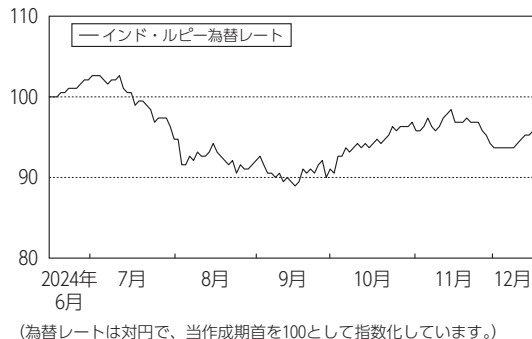


■為替相場

インド・ルピーは対円で下落しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しであることなどから円安米ドル高となる中、対円で上昇（円安）しました。2024年7月から9月半ばにかけては、日銀の追加利上げへの警戒感などから円高米ドル安が進行し、インド・ルピーは対円で下落しました。11月半ばにかけては、米国金利が上昇する中、円安米ドル高となり、インド・ルピーは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、米国金利が大きく上下する中、米ドル円の動きに左右され、インド・ルピーも対円で上下する展開となりました。

為替相場の推移



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得者層の増加などを背景に需要の中長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブにみています。

ポートフォリオについて

(2024. 6. 18 ~ 2024. 12. 16)

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

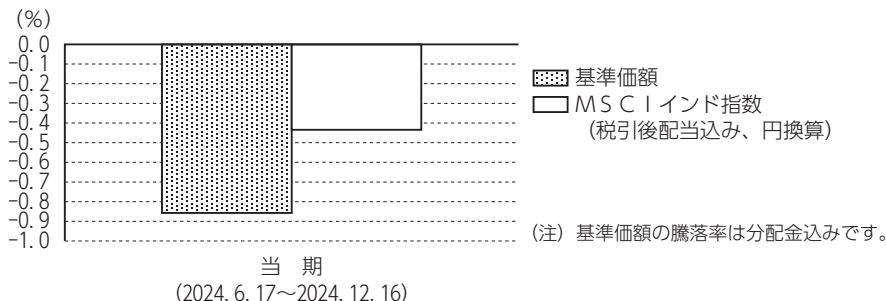
主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。

業種では、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、中間所得者層の増加などを背景に需要の中長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連などを中心に、一般消費財・サービスセクターも組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2024年6月18日 ~2024年12月16日	
当期分配金 (税込み) (円)		500
対基準価額比率 (%)		4.28
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		500
翌期繰越分配対象額 (円)		2,903

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	2,503.81
(d) 分配準備積立金	✓ 900.01
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,403.83
(f) 分配金	500.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,903.83

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得者層の増加などを背景に需要の中長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブにみています。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 6. 18~2024. 12. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	106円	0.921%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,495円です。
(投 信 会 社)	(50)	(0.439)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(50)	(0.439)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	9	0.078	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(9)	(0.076)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
有 価 証 券 取 引 税	4	0.039	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(4)	(0.039)	
そ の 他 費 用	66	0.574	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(63)	(0.551)	インドのキャピタルゲイン税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	185	1.612	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

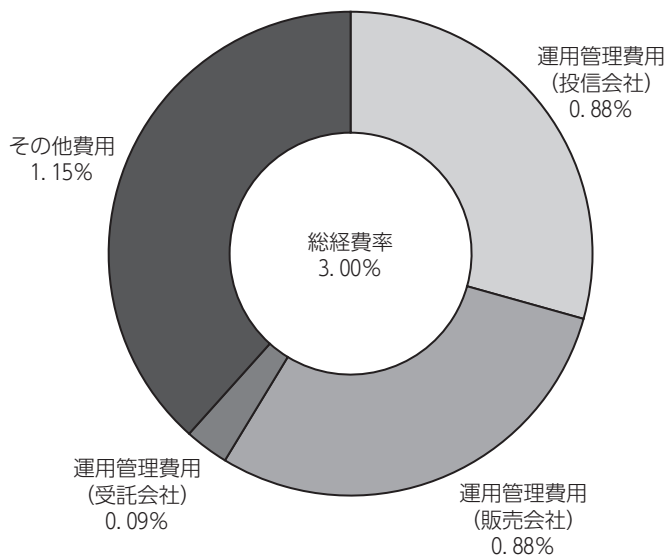
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.00%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) その他費用には、インドにおける非居住者による株式の売却益（キャピタル・ゲイン）に対する税が含まれる場合があります。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年6月18日から2024年12月16日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	24,238,552	63,538,900	8,557,077	21,779,600

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年6月18日から2024年12月16日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	99,604,442千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	286,383,414千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.34

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千□	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	99,611,893	115,293,367	302,010,976	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	302,010,976	94.3
コール・ローン等、その他	18,123,885	5.7
投資信託財産総額	320,134,862	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=153.92円、1インド・ルピー=1.82円、1ユーロ=161.91円です。

(注3) ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(301,098,938千円)の投資信託財産総額(302,194,382千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	320,134,862,160円
コール・ローン等	17,942,885,284
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド(評価額)	302,010,976,876
未収入金	181,000,000
(B) 負債	17,623,036,407
未払収益分配金	13,527,942,563
未払解約金	1,305,991,116
未払信託報酬	2,788,011,813
その他未払費用	1,090,915
(C) 純資産総額(A-B)	302,511,825,753
元本	270,558,851,272
次期繰越損益金	31,952,974,481
(D) 受益権総口数	270,558,851,272口
1万口当り基準価額(C/D)	11,181円

* 期首における元本額は221,386,870,992円、当作成期間中における追加設定元本額は80,009,191,076円、同解約元本額は30,837,210,796円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,181円です。

■損益の状況

当期 自 2024年 6月18日 至 2024年12月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,792,770円
受取利息	2,792,770
(B) 有価証券売買損益	894,265,629
売買益	1,438,829,432
売買損	△ 544,563,803
(C) 信託報酬等	△ 2,789,102,728
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,892,044,329
(E) 前期繰越損益金	24,350,701,664
(F) 追加信託差損益金	23,022,259,709
(配当等相当額)	(67,743,025,828)
(売買損益相当額)	(△ 44,720,766,119)
(G) 合計 (D + E + F)	45,480,917,044
(H) 収益分配金	△ 13,527,942,563
次期繰越損益金 (G + H)	31,952,974,481
追加信託差損益金	23,022,259,709
(配当等相当額)	(67,743,025,828)
(売買損益相当額)	(△ 44,720,766,119)
分配準備積立金	10,822,759,101
繰越損益金	△ 1,892,044,329

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：344,771,694円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	67,743,025,828
(d) 分配準備積立金	24,350,701,664
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	92,093,727,492
(f) 分配金	13,527,942,563
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	78,565,784,929
(h) 受益権総口数	270,558,851,272口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	500円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■運用指図権限の委託の解消について

当ファンドの投資する「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」は、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに外貨建資産の運用指図権限の一部を委託していましたが、2024年9月11日付で運用指図権限の委託を解消しました。

■受付停止日の除外について

2024年9月11日付で、購入申込みおよび換金申込みの受付停止日のうち、シンガポール証券取引所の休業日を受付中止日から除外しました。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

運用報告書 第34期 (決算日 2024年12月16日)

(作成対象期間 2024年6月18日～2024年12月16日)

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）
株式組入制限	無制限

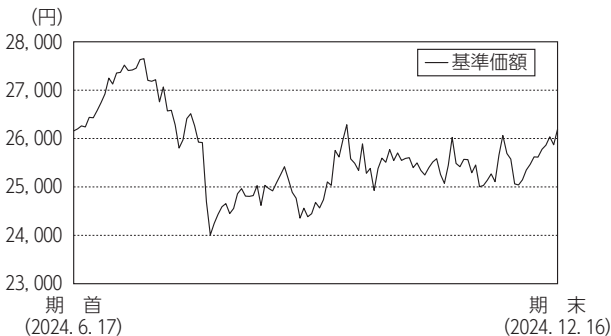
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		MSCIインド指数 (税引後配当込み、 円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	%	(参考指数)	%		
(期首) 2024年 6月17日	26,158	—	27,706	—	97.9	0.9
6月末	27,248	4.2	28,712	3.6	94.2	3.9
7月末	26,264	0.4	28,160	1.6	94.2	4.0
8月末	25,086	△ 4.1	27,107	△ 2.2	93.7	3.9
9月末	25,581	△ 2.2	27,645	△ 0.2	94.3	3.9
10月末	25,583	△ 2.2	27,209	△ 1.8	94.0	3.9
11月末	25,063	△ 4.2	26,127	△ 5.7	93.9	3.8
(期末) 2024年12月16日	26,195	0.1	27,586	△ 0.4	95.6	4.1

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCIインド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：26,158円 期末：26,195円 騰落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式市況の上昇はプラス要因となったものの、インド・ルピーの対円での下落 (円高) がマイナス要因となり、基準価額はおおむね横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より、米国における早期利下げ期待の高まりなどを背景に、上昇しました。2024年8月上旬には、米国における景気減速懸念が重しとなり世界的な株安となる中、インド株も一時下落しましたが、その後はMSCI新興国指数におけるインド株ウエートの上昇や米国の大幅利下げの決定などを背景に、上昇基調で推移しました。10月は、9月CPI (消費者物価指数) の上振れや、市場予想を下回る7-9月期の企業決算に加え、米国金利および米ドル指数の上昇や米国大統領選挙への警戒感などから新興国株式への売り圧力が高まる中、外国人投資家からの資金流出などが要因となり、下落基調で推移しました。その後も、10月CPIの上振れやインド財閥アダニ・グループの会長らが米国検察当局に起訴されたとの報道などを嫌気して、続落しました。当作成期末にかけては、マハラシュトラ州での議会選挙において、与党インド人民党が第1党を、さらに与党連合が過半数を獲得したことにより、投資主導の政策の継続性や政治安定への期待が高まったことなどから、反発しました。

○ 為替相場

インド・ルピーは対円で下落しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しであることなどから円安米ドル高となる中、対円で上昇 (円安) しました。2024年7月から9月半ばにかけては、日銀の追加利上げへの警戒感などから円高米ドル安が進行し、インド・ルピーは対円で下落しました。11月半ばにかけては、米国金利が上昇する中、円安米ドル高となり、インド・ルピーは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、米国金利が大きく上下する中、米ドル円の動きに左右され、インド・ルピーも対円で上下する展開となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

主に、インド経済の発展に必要なインフラ (社会基盤) 投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得者層の増加などを背景に需要の中長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブにみています。

◆ ポートフォリオについて

主に、インフラ (社会基盤) 投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる銀行を中心に、金融セクターを組入上位としました。また、中間所得者層の増加などを背景に需要の中長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連などを中心に、一般消費財・サービスセクターも組入上位としました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はイン

ド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

【今後の運用方針】

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、インフラ投資や設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターに加え、中間所得者層の増加などを背景に需要の中長期的な拡大が期待される自動車やホテル関連を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、個人や企業からの旺盛な資金需要を背景に中長期的な成長が見込まれる、銀行を中心とする金融セクターもポジティブにみています。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	20円 (19) (1)
有価証券取引税 (株式)	10 (10)
その他費用 (保管費用) (その他)	148 (6) (142)
合 計	178

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 主要な売買銘柄
株 式

(2024年6月18日から2024年12月16日まで)

銘柄	当 期			買 付			売 付		
	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価
LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	1,459.475	9,715,787	6,657	MAHINDRA & MAHINDRA LTD (インド)	903.1	4,781,673	5,294		
HDFC BANK LIMITED (インド)	3,124.3	9,207,313	2,947	CIPLA LTD (インド)	1,203.052	3,231,368	2,685		
RELIANCE INDUSTRIES LTD (インド)	1,386.3	6,478,341	4,673	HDFC BANK LIMITED (インド)	865.4	2,822,529	3,261		
ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	1,344.6	5,843,581	4,345	TVS MOTOR CO LTD (インド)	567.502	2,704,413	4,765		
HINDUSTAN UNILEVER LTD (インド)	866.123	4,291,460	4,954	INDIAN HOTELS CO LTD (インド)	2,139.532	2,506,755	1,171		
INFOSYS LTD-SP ADR (インド)	1,395.8	4,268,124	3,057	HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD (インド)	319.439	2,440,089	7,638		
HDFC LIFE INSURANCE CO LTD (インド)	2,006.195	2,337,380	1,165	CUMMINS INDIA LTD (インド)	244.926	1,736,031	7,087		
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	181.8	1,984,122	10,913	LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	240.9	1,640,945	6,811		
HINDALCO INDUSTRIES LTD (インド)	1,375.7	1,802,980	1,310	ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	344.1	1,584,342	4,604		
KOTAK MAHINDRA BANK LTD (インド)	522.5	1,697,255	3,248	RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	147.6	1,367,639	9,265		

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2024年6月18日から2024年12月16日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 29,222 (一)	千アメリカ・ドル 77,881 (一)	百株 7,526	千アメリカ・ドル 25,175
	インド	百株 207,341.86 (10,050)	千インド・ルピー 29,648,427 (一)	百株 102,840.37	千インド・ルピー 16,337,209

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2024年6月18日から2024年12月16日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
株式先物取引	79,561	69,507	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
ICICI BANK LTD-SPON ADR	41,080	51,085	159,436	24,540,432	金融
INFOSYS LTD-SP ADR	29,590	40,939	95,797	14,745,114	情報技術
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	18,890.54	19,232.54	114,048	17,554,416	エネルギー
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	89,560.54 3銘柄	111,256.54 3銘柄	369,282 <18.8%>	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
(インド)					
NUVOCO VISTAS LTD	11,493.95	12,878.28	470,765	856,793	素材
SONA BLW PRECISION FORGINGS LTD	29,528.18	34,204.18	2,161,020	3,933,056	一般消費財・サービス
FSN E-COMMERCE VENTURES LTD	68,898.06	79,295.06	1,333,584	2,427,123	一般消費財・サービス
JUBILANT FOODWORKS LTD	38,665.71	46,374.68	3,159,506	5,750,302	一般消費財・サービス
PAGE INDUSTRIES LTD	344.57	414.13	2,018,562	3,673,784	一般消費財・サービス
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA	12,014.72	13,771.69	2,731,408	4,971,162	金融
HDFC LIFE INSURANCE CO LTD	33,131	50,177.95	3,174,006	5,776,691	金融
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	7,183.77	4,747.38	2,154,764	3,921,671	金融
CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD	9,634.44	11,136.73	1,497,723	2,725,856	素材
TATA STEEL LTD	142,698	162,834	2,425,412	4,414,250	素材
CIPLA LTD	12,030.52	—	—	—	ヘルスケア
AXIS BANK LTD	47,240.94	51,071.94	5,863,824	10,672,161	金融
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	3,801.5	4,265.5	4,808,306	8,751,117	一般消費財・サービス
DLF LTD	20,657.52	12,842.52	1,118,390	2,035,471	不動産
HINDUSTAN UNILEVER LTD	15,151	22,527.23	5,384,233	9,799,304	生活必需品
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	126,400.31	143,400.31	4,787,419	8,713,103	公益事業
ULTRATECH CEMENT LTD	4,433.87	4,731.87	5,717,944	10,406,658	素材
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	32,786.37	36,131.37	6,524,060	11,873,790	金融
BHARAT FORGE LTD	15,863.8	15,863.8	2,138,916	3,892,827	一般消費財・サービス
CUMMINS INDIA LTD	11,986.39	10,676.13	3,843,300	6,994,806	資本財・サービス
DIVI'S LABORATORIES LTD	4,839.9	5,555.9	3,265,035	5,942,365	ヘルスケア
SHREE CEMENT LTD	747.98	896.93	2,474,759	4,504,063	素材
TECH MAHINDRA LTD	8,848.75	10,251.75	1,841,624	3,351,756	情報技術
TVS MOTOR CO LTD	13,194	9,252.98	2,333,509	4,246,986	一般消費財・サービス
EICHER MOTORS LTD	5,028.54	5,703.54	2,752,471	5,009,497	一般消費財・サービス
HINDALCO INDUSTRIES LTD	46,191	52,121	3,450,931	6,280,695	素材
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	10,979	12,161	5,440,709	9,902,091	情報技術
LARSEN & TOUBRO LTD	23,285.5	35,471.25	13,787,674	25,093,568	資本財・サービス
HDFC BANK LIMITED	57,903.24	80,492.24	15,066,135	27,420,365	金融
RELIANCE INDUSTRIES LTD	—	23,913	3,043,766	5,539,654	エネルギー
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	22,894	16,239	5,003,885	9,107,071	一般消費財・サービス
ABB INDIA LTD	5,753.27	5,453.27	4,200,790	7,645,438	資本財・サービス
INDIAN HOTELS CO LTD	55,931.1	39,235.78	3,357,013	6,109,764	一般消費財・サービス
インド・ルピー通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	899,540.9 32銘柄	1,014,092.39 32銘柄	127,331,456 <76.7%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	989,101.44 35銘柄	1,125,348.93 35銘柄	— <95.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外国	百万円	百万円
IFSC NIFTY 50（インド）	12,253	—

（注1）外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

（注2）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 288,583,214	% 95.5
コール・ローン等、その他	13,611,167	4.5
投資信託財産総額	302,194,382	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝153.92円、1インド・ルピー＝1.82円、1ユーロ＝161.91円です。

（注3）当期末における外貨建純資産（301,098,938千円）の投資信託財産総額（302,194,382千円）に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	302,194,382,472円
コール・ローン等	10,834,002,636
株式（評価額）	288,583,214,853
未収入金	205,770,569
未収配当金	106,974,562
差入委託証拠金	2,464,419,852
(B) 負債	181,000,000
未払解約金	181,000,000
(C) 純資産総額（A－B）	302,013,382,472
元本	115,293,367,771
次期繰越増益金	186,720,014,701
(D) 受益権総口数	115,293,367,771口
1万口当り基準価額（C／D）	26,195円

* 期首における元本額は99,611,893,657円、当作成期間中における追加設定元本額は24,238,552,030円、同解約元本額は8,557,077,916円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド 115,293,367,771円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は26,195円です。

■損益の状況

当期 自 2024年6月18日 至 2024年12月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,557,309,927円
受取配当金	1,500,582,472
受取利息	12,513,437
その他収益金	44,214,018
(B) 有価証券売買損益	△ 307,006,972
売買益	23,598,301,586
売買損	△ 23,905,308,558
(C) 先物取引等損益	195,512,725
取引益	1,024,884,786
取引損	△ 829,372,061
(D) その他費用	△ 1,752,815,679
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	△ 306,999,999
(F) 前期繰越増益金	160,949,188,814
(G) 解約差損益金	△ 13,222,522,084
(H) 追加信託差損益金	39,300,347,970
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	186,720,014,701
次期繰越増益金（I）	186,720,014,701

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用指図権限の委託の解消について

当ファンドは、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに外貨建資産の運用指図権限の一部を委託していましたが、2024年9月11日付で運用指図権限の委託を解消しました。